横手地区統合校（仮称）整備事業に関するサウンディング型市場調査に係るサウンディング結果（概要）の公表について

令和６年１２月１０日
秋田県教育庁総務課施設整備室

１．サウンディング実施の経緯

秋田県教育委員会では、横手市に設置してある増田高校、平成高校、雄物川高校を統合し横手地区統合校（仮称）の開校を予定しています。設置学科は農業科および総合学科とし、既存の増田高校を改修し開校する予定で、現在、基本構想の策定作業を進めています。

統合校として活用を予定している増田高校は、管理棟・普通教室棟については昭和４６年度建築で５３年が経過し、施設設備の老朽化や維持管理費の増が課題となっています。

本調査は、統合校を整備するにあたり、民間事業者のアイデアを生かしながら整備する方策を検討するため実施しました。

２．サウンディングの実施スケジュール

令和６年　９月２０日	サウンディング実施要領の公表
令和６年１０月　４日	説明会の開催
令和６年１０月　８日	現地見学会の開催
令和６年１１月２２日	サウンディングの実施
令和６年１２月１０日	サウンディング結果（概要）の公表

３．サウンディングの参加者

（１）説明会参加者　２者
（２）現地見学会参加者　１者
（３）サウンディング参加者　１者

４．サウンディング結果の概要

（参加者からの意見・提案等）

対話の項目	対話概要
学校教育法の規制がある中での事業方式に関する提案	・ＲＯ方式を提案する。 ・複合提案であれば、交流人口を生み出すような仕組みの構築や地域に開かれた学校の提案も考えられる。
実施する事業内容･整備する施設の内容等に関する提案	【実施する事業内容について】 ・売店、寄宿舎の運営及び食事提供、学生食堂が想定されるが、独立採算で運営するのは難しいと考える。 ・売店については、事業条件ではなく独自提案形式で公募する手法もある。 ・施設設備の維持管理については、法定点検等の組み入れが想定される。 ・施設設備の維持管理業務について、現状では毎年度入札･契約事

	務手続きが発生するが、ＰＦＩを取り入れることにより手続きに係る準備経費も削減できると考える。 【整備する施設の内容等について】 ・現段階では改修規模が把握できないため、具体的な提案は難しい。また、改修程度により金額が大きく変動することになる。
参画意欲の有無や参画を高めるための要望	・公募条件次第では、参画意欲あり ・売店、寄宿舎の運営及び食事提供、学生食堂については民間事業者側のリスクとなるため、サービス購入型を取り入れることにより参画意欲を高めることができると考える。 ・改修については、改修する部分と改修しない部分のリスク分担を明確にする必要がある。
条件や制約により事業化が困難な場合のその他の提案	・事業内容を鑑みると、現状では売店、寄宿舎の運営及び食事提供、学生食堂については、事業条件から除いて検討することが望ましいと考える。
事業実施にあたって行政に期待する支援や配慮してほしい事項	・事業年度ごとに出来高払いを求める事業者が多いため、支払い方法について検討する必要がある。 ・昨今の物価高騰等から変更契約が必要となる可能性があるため対応できる契約内容とすることが望ましい。

５．サウンディング結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディングにより、事業方式や実施する事業内容、参画を高めるための要望等の御提案をいただきました。

今回のサウンディングの結果を踏まえて、事業方式や公募条件の整理・検討を進めていくこととします。